

おもしろ算数⑦⑨ (小4年生)

(このページは、直接入力できません。そのまま見るか、印刷してもらって使ってね!!)

小学校4年生の みなさん、こんにちは。

おもしろ算数⑦⑨は、「四角形」の問題です。

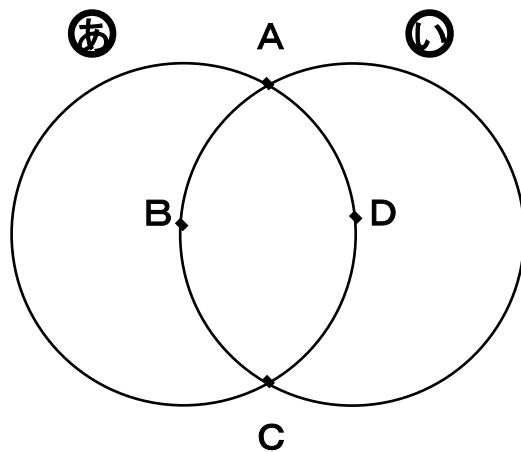


【問題】

下の図のように、大きさの等しい2つの円①、②があります。

点B、Dは、円①、②の中心です。

点A、B、C、Dを順に直線で結んでできる四角形は何という四角形ですか。また、その四角形になるわけを、円の特ちょうを使って説明しましょう。



【自分の考え】

答え. 四角形A B C Dは、ひし形になります。

四角形A B C Dにおいて、

辺A B = 辺B Cである。なぜならば、辺A Bと辺B Cは、円㊦の半径にあたるから。

また、辺C D = 辺D Aである。なぜならば、辺C Dと辺D Aは、円㊧の半径にあたるから。

次に、円㊦と円㊧は大きさが等しいから、その半径もそれぞれ等しい長さといえる。

よって、辺A B = 辺B C = 辺C D = 辺D A となる。

辺の長さが全部等しい四角形はひし形であるから、四角形A B C Dはひし形になる。

※円の特ちょうをうまく使って説明できましたね。

「大ききの等しい2つの円㊦、㊧があります。」という問題文の中には、とても大切な手がかりが含まれているということをよく感じてください。

文章題で行き詰まったら、問題文に戻って考えてみて下さい。問題文の中にこそ、問題を解く手がかりがあるのです。